



え い ち 叡智と愛 2.0

臼杵市立北中学校
校長通信 NO.29
令和7年11月19日
文責:戸高浩二

北中生へ シン・文化祭 2.0 を終えて…

自然:「ネイチャーレンジャーとデビル」

どうすれば観ている人に分かりやすく伝えることができるのか。どうすれば、観ている人に楽しんでもらえるのか。そんな事を考えながら創ったのではないかな。そう思える、探究の成果とエンターテインメントが見事にマッチした完成度の高い発表だった。

躍動感あふれる正義の味方ネイチャーレンジャーと、どこか憎めない悪の集団デビル。この発表は単にネイチャーレンジャーとデビルのやりとりだけではない。きちんと自分たちが体験した事や、聞いたり見たりした事などを紹介しながら、両者のキャラクターを絡ませていた。そして、発表の終盤。悪役のデビルが心を入れ替えて自然のために取り組んでいこうとする終わり方は見事だった。また、自然に関する知識を持ってもらうため、クイズ形式で観客を巻き込む手法もよかった。

脚本は自然カテゴリーのメンバーが書いたと聞いて、その才能に驚いた。芸術のメンバーと同じように、自分たちの作品を自分たちで作り上げる。北中生の底力を感じた。



有志発表:「北中・夢中・熱狂中」

歌、ピアノ演奏、バンド演奏、ダンス、コント…。自分の得意な芸を、仲間や先輩、家族、地域の方など多くの人に観てもらおう。文化祭はそれができる貴重な時間だと思う。昨年から行っている有志発表。今年はバンド演奏などバリエーションが増え、先生も参加しグレードアップした。

「芸は身を助ける」という言葉がある。何か得意なものを持っていると、それが進路や就職に役立ったり、人とのつながりを生んだり、いろんな効果がある。そして何よりも自分の人生を豊かにする。出演者の生き生きとした表情。会場の盛り上がり。存分に楽しませていただいた。



展示発表:「創意工夫」

【展示:グラフィックデザイン・まちづくり・美術部・美術科・国語科】

グラフィックデザインは文化祭と八町大路の店舗のチラシだった。文化祭のチラシは構図やキャラクター、色彩などを考え、iPad を使いながら上手に仕上げていた。目を引く表面のデザインと、文化祭の内容を分かりやすくまとめた裏面があり、クオリティーの高い作品だった。店舗のチラシは店の一押し商品をうまく表現していたり、店のイメージに合った色を使ったりして、店の人が喜ぶ顔が目に見える作品だった。



まちづくりのポスターは城下町臼杵にふさわしい落ち着いた哀愁たどる作品や観光名所・食をシンプルに表現したインパクトのある作品だった。ゴマ豆腐のキャラクターは来場者も絶賛していた。ぜひ、商品のパッケージに入れてほしい。

美術部はカラフルなストラップやレターセットを展示していた。来場者に「これは、買うことができないんですか?」と聞かれた。お金を出してもほしいと思わせる完成度の高い作品だった。

美術科の作品は全校生徒から選ばれて展示されているだけに、構図や色使いなどレベルが高い写実的な作品ばかりで、見入ってしまった。

国語科は修学旅行の楽しみを短歌にしていた。修学旅行に対する一人ひとりの思いが込められていて、あの楽しかった修学旅行を思い出した。また、家族や仲間を思う作品に心が温かくなった。

他の展示は校長通信NO.30に続く